



学校通信

令和2年7月31日
東京都立葛飾盲学校長
田島 忍
(第4号)

夏休みの生活について

主任教諭 石川 達郎

5月までの臨時休校期間、そして6月の分散登校期間を経て、本日で1学期が終了いたしました。「新型コロナウイルス」「緊急事態宣言」「ロックダウン」「集団感染（クラスター）」「ステイホーム週間」等、聞き慣れない言葉が多く飛び交い、子供たちが楽しみにしていた様々な行事も中止や延期になってしまいました。子供たちだけでなく、我々教員も今まで経験したことのない数か月間でした。保護者の皆様、これまでの対応について御理解と御協力をいただき、ありがとうございました。

さて、明日からいよいよ夏休みが始まります。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、いつもよりも3週間ほど短くなりました。例年ですと、「長い夏休みにしかできないことを思う存分にしてください」と申し上げるところですが、今年度に関しては、御家庭でも人混みを避ける、こまめな手洗いをする等の感染症対策をしながらお過ごしいただければと思います。

真夏のこの時期は特に熱中症にも留意する必要があります。御家庭においてもすでに実施されていると思いますが、こまめな水分補給を促すこと、また、現在飛沫を飛ばさないように基本的には常時マスクを着用することが望ましいとされていますが、熱中症などの健康被害が発生する可能性がある時や、息苦しさを感じた時はマスクを外すなどの対応をお願いいたします。

学校では新型コロナウイルス感染症への対策を行い、3密（密集・密接・密閉）を避け、活動を工夫しながら学習を進めてまいりました。2学期も引き続き「新しい生活様式」に則り、新型コロナウイルス感染症対策をしながら、子供たちにとって安心、安全な学校にしていきたいと考えております。

また8月24日の始業式に、全員が元気に登校することを楽しみにしています。

今年度の幼稚部は、新生児が加わり、6名でのスタートとなりました。慣れない環境に初めは不安や戸惑いを見せる幼児もいましたが、7月に入り、教員や友達とのかかわりを深め、それぞれの幼児が笑顔多く過ごせるようになってきたことを嬉しく思います。

さて、幼稚部では、今年度も主に遊びを通して学ぶ活動、いろいろな物に触れる体験に取り組んでいきます。初めは、不安などから参加することが難しい活動でも、環境を整え、それぞれの幼児のペースに合った取組を丁寧に行ってまいります。

幼稚部 桐生

